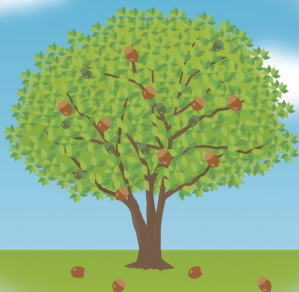
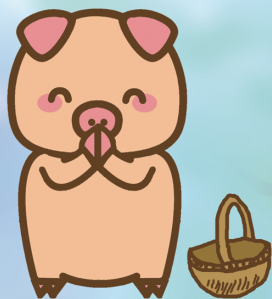


ぶーぶーちゃんのお家の隣には
一本の大きなドングリの木があります。
霊峰から持ち帰ったドングリを
「ドングリさん」と名付けて
真心こめてお世話をしました。
ドングリさんはすすくと育ち
ぶーぶーちゃんのお家よりも大きい
とても立派な木になりました。



「ドングリさんドングリさん。いつも
美味しいドングリ、ありがとぶ～」



ぶーぶーちゃんは大きなドングリの木に
手を合わせてから、食べる分だけドングリを
いただきます。

「びかびかつやつや、うれしいぶ～♪
おいしいドングリ、ありがとぶ～♪」
短いしっぽをフリフリしながら、
ぶーぶーちゃんは鼻歌交じりに
ご機嫌でドングリを拾いました。
ところが…

「ふい？…最近、落ちてるドングリの数が少ないぶ～ね。
それに、ドングリさんの葉っぱ、ちょっと元気が無い気がするぶ」
ぶーぶーちゃんは心配そうな顔で、大きな幹を優しくなでました。

「心配だぶ～ね…美味しいお水を沢山のんで、
早く元気になってほしいぶ～」
霊峰から流れる川のお水をたっぷりあげて、
ぶーぶーちゃんはお家へ戻りました。

